

KAWAUCHI

福島県川内村 村勢要覧

伝承と創生

川内村



川内村長
遠藤雄幸

川内村は、自然豊かで先人から受け継がれた素晴らしい伝統を継承してきましたが、平成23年3月11日の東日本大震災による原子力発電所事故により、重大な被害を受けました。

当村の先輩方は、この地で生活するために幾多の困難を乗り越え、この川内村を維持してきました。我々も、先輩方同様に原子力発電所事故により失われた数々の財産を一つ一つ再生し、発展させ、川内村を次世代に受け継いで行かなければならないと考えています。そして、長年培われてきた川内村の風土や慣習等、大事なものを守り慈しみ、時代に応じた進化を遂げさせ、村民の方々が求める村政運営を行ってまいります。

この川内村は原子力発電所事故により、大きな変革を求められました。村民の方々が物事の価値観や判断基準、生活環境等、人の生き方や考え方にも何が重要で、何が不要かの判断が求められました。

しかし、どんなに状況が変わろうとも、自然を大切に、安全な生活環境を確保し、この川内村にて生活する誇りを大事にし、弱い立場の人や困っている人を助けることのできる地域づくりを目指し、「人と人」、「人と自然」との関係を大事にし、「自己中心」から「他者中心」への考え方や行動のできる村づくりを進めていきたいと考えています。



概要

本村は、福島県双葉郡の中西部に位置し、東は富岡町・楢葉町、西は田村市滝根町、南はいわき市、そして北は田村市都路町・双葉郡大熊町に接しており、北から南には雄大な阿武隈高地の山々が連なっています。

村の平均標高は約456mと高く、そのため霜などの影響を受けやすい地勢です。葉タバコ、畜産・高原野菜などの複合経営型農業に適しております。

耕地はわずか5%ではありますが、村の大部分を占める山林は、村の重要な森業資源であるとともに豊かな自然環境を形成しています。

気候は北関東地方とほとんど変わりなく、年間を通じて比較的温暖な表日本型です。

歴史

川内の歴史は古く、村内のいたるところから縄文土器の破片や石斧などが発見されていることから、遠く石器時代に先住民族が生活していたことが窺われます。

源頼朝が奥州平泉の藤原氏を攻略したのち、常陸国(現・茨城県)から多賀城(宮城県)に北上する海道に沿った諸郡(菊田・岩崎・岩城・楢葉・行方・宇多・亘理)は、岩城氏と相馬氏に分けられ「かわうち」は岩城氏の所領となりました。

永享4年(1747年)以後、この地方は幕府直轄地となり、会津領から棚倉領へと領主は種々変遷。明治6年になると「川内」は磐前県第二大区第四小区に属し、俗に山楢葉と呼ばれるようになりました。

明治22年4月、町村制の実施により上川内村と下川内村は合併し、現在の「川内村」が誕生しています。



CONTENTS

- 1 村長挨拶 / 概要 / 歴史 / 位置 / 気候
- 3 川内村の自然
- 5 川内村の歴史と文化
- 7 川内村が誇る名誉村民 樋口主水 / 草野心平
- 8 川内村の特産品
- 9 川内の施設
- 11 村議会
- 13 村づくり5本の柱
暮らしを守り・生活を高める村
村民一人ひとりが輝く村
魅力と賑わいの生れる村
村民とともに歩む村
新たな創造に取り組む村
- 18 資料編
- 26 村の鳥・木・花 / 村民憲章



■主要都市までの距離

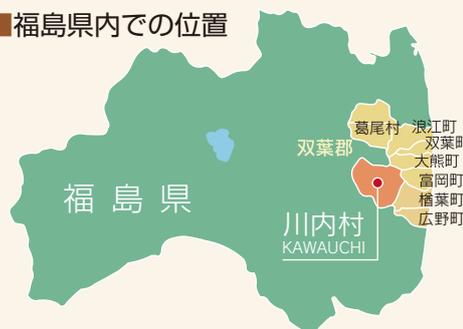
| 道路 | |
|-----|-----------|
| 札幌 | 736.0km |
| 青森 | 473.0km |
| 仙台 | 148.5km |
| 東京 | 244.5km |
| 大阪 | 796.5km |
| 北九州 | 1,326.5km |

| 鉄道 | |
|-----|-----------|
| 札幌 | 927.4km |
| 青森 | 495.7km |
| 仙台 | 108.3km |
| 東京 | 253.6km |
| 大阪 | 810.8km |
| 北九州 | 1,434.7km |

位置

川内村は、福島県・浜通り中部に位置し、東経140度50分、北緯37度19分、面積197.35km²となっており東京と仙台を結ぶ中間地点に位置しています。
 東は富岡町・楢葉町、西は田村市滝根町、南はいわき市、北は田村市都路町・双葉郡大熊町に接しており、北から南には雄大な阿武隈山地の山々が連なっています。
 耕地の標高は400～600m、一番高い山は大滝根山で1,193m、頂上に航空自衛隊のレーダーサイトがあります。

■福島県内での位置



気候

太平洋側東日本型の気候で、年間平均気温は10.9℃、雨量は月平均105ミリです。



名勝地 不動滝

万太郎山の奥深くに水源地を有し、山肌全体が花崗岩であるため水質も清らかで長雨にも濁ることはありません。奇岩怪石と松の翠は一見の価値があります。滝に向かって左に古熊山不動堂があります。

豊かな自然に 抱かれて



福島の水30選 いわなの生息地『千翁川』

千翁川は上流に民家がないこともあって、たいへん清らかな川です。水は真夏でも冷たく、川面を流れる涼水があなたを迎えてくれます。川の両岸は、ミズナラ、ブナ、イヌブナ、カスミザクラ、ミズキなどの豊かな雑木林があり、雨が降ってもこの林が自然の濾過作用で濁った水をきれいな水に変えてくれます。千翁川はイワナが生息し、川沿いには整備された道路があり、家族での渓流釣りを楽しむこともできます。

千翁川を上流へ進むと川が二つに分かれ右側が千翁川、左側は平伏沼へと続きます。



うつくしまの音30景・ モリアオガエルの鳴き声

天然記念物 モリアオガエルの生息地

平伏沼

平伏沼は、海拔842mの平伏山の山頂にあり、面積12aの小さな沼で、周囲は広大な落葉広葉樹に囲まれモリアオガエルの生息を支えています。

モリアオガエルの繁殖地として国の天然記念物の指定を受けているのは、全国で岩手県の八幡平大場沼とこの平伏沼の2ヶ所です。

沼の北西側の不用意な伐採と、昭和47年の干ばつが重なり産卵期に沼が干し上がり一時は絶滅寸前まで追い込まれたが、村民総出の必至の努力で危機から救われました。

モリアオガエルは梅雨入りから10日間ぐらいで水辺の枝に泡状の卵を産み、その後15日ぐらいでオタマジャクシになります。40～50日目頃までは尾のある小蛙を目にすることが出来ます。

福島の緑の100景

サラサドウダンの名所『高塚高原』

県道富岡・大越線に入り、田村市方面へ向かうと、旧第三小学校跡地入り口の手前200m付近に「高塚高原入口」の大きな案内板があります。この案内板から約7kmで駐車場に着きます。

道路は整備されていて勾配も比較的緩やかです。登山道の入口には、キャンプのための施設が整備され、緑の高原での野外活動の拠点にすることができます。高塚高原はサラサドウダンをはじめ、アセビ、リョウブ、コヨウラクツツジ、アブラツツジなどの低木林でおおわれています。初夏の山開きには、これらの花が山一面に咲き始めます。そして秋の紅葉は錦絵のような艶やかな山の姿を見ることができます。これらの林の中は遊歩道が整備され、大きく2つのコースになっています。頂上までは、約30分のコースです。頂上には「ペラペラ石」をはじめ多くの巨石があり、一番高いところに立ちたくなるかもしれません。ここからの眺めは360度大パノラマが体験できます。阿武隈山地最高峰の大滝根山(1,193m)を西に見て、東に川内村が広がっています。高塚高原には都会や観光地では味わえない本物の自然が残されていて、初夏から秋を通じてたくさんの人たちが訪れこの景色を楽しんでいます。





重要無形民俗文化財

『川内の獅子舞』

本村には、高田島・西郷・町・西山の4つの獅子があり、昭和53年に県の重要無形民俗文化財に指定されている。400年の歴史をもつ川内の獅子舞は、阿武隈高地に多く残る獅子舞の中でも歴史的・文化的価値の高いものされ、双葉地方の代表的古典芸能となっている。

草野心平を偲ぶ 天山祭

天山文庫の前庭で毎年開催されている天山祭りは、心平先生が好きであった祭りです。みんなが酒や肴を持ち寄り、時を忘れるほどに楽しんだ祭り。

いまでも心平先生の遺徳をしのび、酒や肴、山菜が振舞われるほか、詩の朗読や伝統芸能の披露などのイベントもあり、非常に文化的価値の高い祭りです。

昭和37年、村は仮称「心平文庫」の議案を決め、草野心平の友人、建築家山本勝巳に設計を委託しました。昭和41年7月、「天山文庫」と正式名称も決まり落成式が行われました。文庫には、1968年にノーベル文学賞を受賞した川端康成揮毫の「天山」の扁額や、版画家 棟方志功の書が掲げられています。この祭りは、故草野心平先生の遺徳をしのび、出会いと交流を図るお祭りで、各自が持ち寄った酒や肴、山菜料理を食ながら親睦と融和を深めるものです。国内外からの参加者も含めて、川内村の夏のイベントとして広く全国に知られています。



川内村の歴史と文化

伝統

守り伝えられる



紀元2600年『浦安の舞』

昭和15年・紀元2600年記念として、全国の神社に浦安の舞を奉納することになった際、当時の禰宜、秋元善雄氏、小学校教員の井出トシさんの二人が仙台市で開催された講習会を受講され、その後神社の祭典で奉納されることになった。



民芸資料館 阿武隈民芸館

川内村に古くから伝わる民芸品や土器などの出土品を始め、阿武隈山系や福島県内各地に残る民芸品(陶磁器、漆器、木工品)などを数多く展示、保存しています。また、詩人草野心平と村民との心の交流を物語る思い出の品々も展示されています。先人の知恵や生活様式を知る上で、貴重な資料館であり、その心を受け継ぎ、川内村の未来、産業や生活の文化を伝えるための施設です。



歴史的遺産



平安時代作
『虚空像菩薩座像』

長福寺の開基に遠藤筑前守が守護本尊として信州松本より奉祀したもので、現在上川内字久保虚空蔵堂に安置されている。平安時代の作とされ、色彩像で高さ70cmの檜材一木造りである。



平伏沼『草野心平歌碑』

国指定天然記念物となっている平伏沼の周辺に、草野心平先生の歌碑があります。



城主安藤公
『安藤公遺児の墓』

慶応4年7月、平城は奮戦空しく陥り、城主安藤公は戦火の中をいわき市桶壳を経て相馬に難を逃れた際、川内村上川内字羽貫立にて3歳の愛娘が病没した。



奥州月夜塚
『芭蕉の句碑』

みちのくの自然の美しさを称えた句碑で、「月代や 膝に手をおく 宵の中」と歌われています。

同じく上川内太子堂の境内に「しばらくは 花の上なる 月夜かな」と詠まれた句碑もあり、諸国翁墳記に「奥州月夜塚」として記載されています。



坂ノ上田村麻呂の伝説『林の大杉』

杉の高さ54m、周囲6m、枝の広がり18mの大木で、地上27m位から幹が三本に分かれている。延暦20年(810年)、坂ノ上田村麻呂が霧島山の逆賊征伐の折に、大元神社に献植したものとされており、樹下に小祠が残っている。

人間の誇り得る所産 天山文庫

美しいロケーションに溶け込む、趣ある藁葺き屋根の天山文庫。詩人・草野心平(くさのしんぺい)先生が、川内村の人々と豊かな自然に心を打たれ、毎年のように村を訪れるようになりました。

文庫の設計は、日本建築の権威である信建築設計事務所長、山本勝巳氏。美しい付近のロケーションに溶け込む木造真壁造りで茅葺き屋根。玄関の「天山」の扁額は、故川端康成先生の書、彫刻は後藤桂仙師。襖の帯は、明治中期頃の紺緋、自在かぎは白夜院の伝統もの、扉や腰板の太鼓鉾は信州松本城でも使用している手打鉾が打ちこまれ、池は「月の十三夜」に似せて築かれたものです。

文庫の設立にあたっては、井上靖、金子光晴、唐木順三、河上徹太郎、川端康成、小林勇、高村豊周、武田泰淳、谷川徹三、中野重治、西脇順三郎、吉田晁、松方三郎、武者小路実篤、村野四郎、山本健吉の諸氏が天山文庫設立協力委員会発起人として活躍されました。



川内村が誇る

名 誉 村 民



樋口主水

HIGUCHI SYUSUI

錦心流薩摩琵琶の名手 (平成14年3月5日没)

川内村の名声を広め、芸術文化の興隆に貢献されました故樋口春(ひぐち・なごし)氏が詩人草野心平氏に続いて、平成8年に川内村名誉村民第2号に推薦され、名誉村民第2号の称号が贈られました。

樋口氏は、20才にして錦心流薩摩琵琶の奥伝に達し、水号を許され樋口主水と号しました。

昭和30年から亡くなるまでの47年間本村に定住され農業のかたわら全国各地で琵琶の演奏やテレビ出演等々、川内村に「琵琶仙人あり」と本村を広く知らしめました。昭和61年に福島県文化功労賞並びに川内村特別功労賞、平成2年には文部大臣から地域文化功労賞が贈られました。

今でも、琵琶芸術の極限に挑まれた姿勢には深く感動するものがあり、本村の文化の進展に与えた功績は郷土の誇りであり、その功績をたたえ名誉村民として川内村史に永久に明記されます。



草野心平

KUSANO SHINPEI

詩人 (昭和63年11月12日没)

「蛙の詩」で知られる詩人・故草野心平氏・「モリアオガエルの生息地があれば教えて欲しい」と、ある新聞に投書したのが、昭和25年のこと。それに応えて、当時の長福寺住職、故矢内俊晃和尚が早速招聘の手紙を送りました。

そして昭和28年8月、心平氏は川内村を初めて訪れました。以来、心平氏と村民との親交は深まり、心平氏の蔵書3000冊を村に寄贈されたのを機に文庫建設の話がもちあがりました。

そして村民一木一草を持ち寄り村あげでの労働奉仕によって建てられたのが、今の天山文庫です。天山文庫の名は中央アジアを越えて、東洋と西洋を結ぶ「シルクロード」にそびえる天山山脈になぞらえ、みちのくと中央の交流、人と人との出会いを大切にしたいという熱意を込めて、心平氏が命名したものです。

昭和35年に川内村名誉村民第1号に推薦され、名誉村民第1号の称号が贈られました。

川内の
特産品



蕎麦ビール
Soba GARDEN

川内産の蕎麦で作ったビール。喉越しの黒『蕎麦畑』。こだわりの白『蕎麦』。



かわうち味噌



凍み餅



乾燥しいたけ



じゅうねん油



いわなときのこの
炊き込みごはん



炙りいわな



スモークいわな



食べるえごま油

特産品 蕎麦



川内村の激しい寒暖の差が、ソバを美味しく育て上げます。是非ご賞味ください。



川内高原そば
(だたん)



川内高原そば



あぶくま高原そば

川内の施設



川内村立 川内小学校

平成16年度に、川内第一小学校、川内第二小学校、川内第三小学校の三つの学校が統合され川内小学校が開校しました。敷地面積は約37,900㎡、校舎は約3,867㎡です。木造平屋の木のぬくもりを感じられる木造の建物になっており、屋外運動場や屋内運動場、プールも併設されています。校舎は南向きに建設されており、自然光を多く取り入れ、明るい教室になっています。



川内村立 川内中学校

川内中学校は昭和22年4月25日に創立され、平成28年で創立70年を迎えました。平成2年6月に当時建設された校舎が取り壊され、平成3年3月に新校舎が完成し、平成28年現在もその校舎が使用されています。敷地面積は約14,636㎡、校舎は約3,002㎡の3階建ての建物です。屋外運動場や屋内運動場の他にテニスコートも整備されています。



川内村 保健・福祉・医療 複合施設 ゆふね

「ゆふね」は医療・介護・福祉を複合した施設です。村内唯一の国保診療所が併設されており、内科・歯科をはじめ、整形外科・眼科・心療内科を受診することができます。また、社会福祉協議会ではヘルパーが自宅に訪問し介護を受けることができるホームヘルプやデイサービスも行っており、高齢者の方が自分らしくいきいきと暮らしていけるサポートをしています。このほか、保健センターでは子育てのことやご自身の健康についての相談も受け付けています。



笑顔かがやく郷の宝物 いわなの郷

緑多い檜生川沿いの林道を上ってゆくと緑の中に和風のしっとりとした佇まいの「いわなの郷」の幻魚亭が見えてきます。ここでは、いわなを中心にした料理などの飲食をすることができます。

広い敷地内には釣り堀の他に和風庭園や宿泊の出来る民家風のコテージ、東屋、水車小屋など釣り以外にもピクニック気分を味わえるエリアがたくさんあります。

また、溪流でしか釣れないいわな釣りを誰でも気軽に楽しむことができます。ご家族で、釣り仲間、または釣りを始めてみたい方など、「いわなの郷」でちょっとワイルドな釣り気分を味わって下さい。



心豊かになごみの温泉 かわうちの湯

八角形をした斬新なデザインの温泉棟で、第一浴室と第二浴室に別れており、日替わりで男湯・女湯に変わります。

泉質はアルカリ性単純温泉で、打ち身、切り傷、内臓病などに効果があります。アルカリ度が高く、肌がつるつるとなることから『美人の湯』とも言われています。施設内の温泉種類も多く、泡風呂とジェットバス、冷水とサウナ、大風呂と寝湯、そして炭酸泉と外には露天風呂が設置された、くつろげる温泉施設です。

「美人の湯」とも称されるアルカリ性単純温泉

◎一般的適応症

神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・運動麻痺・関節のこわばり・くじき・慢性消化器病・痔疾・冷え性・病後回復期・疲労回復・健康増進



川内村室内型村民プール もりたろうプール

川内村の子供たちが日々勉学に励む川内中学校の隣に、川内村室内型温水プール「もりたろうプール」があります。

メインプールは25m×6コース、水深は100cm～120cmです。安全に入水できるようスロープが付いているため、高齢者の方も安心してご利用いただけます。幼児用プールは水深50cm～70cmのスライダー付きです。プールサイドには採暖室を備えているため、寒い冬でも快適にご利用いただけます。休日や大型連休には村内外から多くの家族や子供たちが訪れています。



川内村議会

美しい自然の中で 村民とふれあい ともに歩む村議会

村議会は、村民の声を十分に行政に反映させるため、村民の代表として選出された10名の議員で構成されています。

議会では、村政運営の方針や予算の審議、決算の認定、各種条例の議決などが行われます。

議会は年4回の定例会のほか、必要に応じて開催される臨時議会や全員協議会で提出された議案などが審議、決定されます。

さらに、審議を慎重かつ実質的、能率的に行うため総務と産業建設の2つの常任委員会が設置され、専門分野の議案、請願、陳情などの付託事項の審議や、調査活動を行っています。



議長
渡邊 一夫



副議長
松本 勝夫



坪井 利之



高野 政義



新妻 幸子



井出 茂



井出 剛弘



佐久間 武雄



久保田 裕樹



志田 篤



川内村ならではのさわやかで心地よい農村空間を活かすつ、
災害に強く、安全や利便性を図り、生活を高められる村

暮らしを守り・生活を高める村

村づくりの5本の柱

農村空間を活かした快適な村づくり

総合的土地利用、住宅・生活環境の整備

自然環境の保全や農村風景との調和した総合的な土地利用の下に、災害からの復興にともなう受け皿としての新しい住宅・宅地の整備や上下水道、廃棄物処理等の生活環境の整備など、快適な村づくりを計画的に推進していきます。



安全で安心な村づくり

交通安全・防犯の充実、消防・救急、防災対策の充実、交通網の整備充実

地震や原子力災害など広域的な災害の経験を活かし、消防・救急、防災対策(災害防止、緊急時避難用施設整備、災害復旧体制等)の強化および防犯・交通安全、さらには生活の利便性と災害時の避難等を含めた道路整備など安全かつ安心、利便性の高い村づくりを計画的に推進していきます。





健康で安心して暮らせる村づくり

保健福祉・地域医療の充実と健康づくり、子育て環境の充実、障がい児・障がい者福祉の充実

少子高齢化の急速な進展が予想される中で、村民の暮らしを支える地域医療や高齢者福祉の充実、村民の健康づくりを進めるとともに、子育て環境の充実や障害者福祉の充実を図るなど、健康で安心して暮らせる、村民にやさしいきめ細かな村づくりを推進していきます。

心の豊かさやゆとりのある村づくり

生涯学習、文化活動、生涯スポーツの推進、学校教育の充実

川内村の将来を担う大切な「人財(たから)」である子どもたちが、のびのびと学ぶ事ができるよう特色ある小中学校教育の展開や安心して高等教育が受けられるような学習支援環境を重点的に整えるとともに、だれもが、いつでも、どこでも参加し、学ぶことができる生涯学習や文化活動、生涯スポーツなどを進め、心の豊かさやゆとりを育む村づくりを推進していきます。

2 村づくりの5本の柱

村民一人ひとりが輝く村

少子高齢化進展の中でも、村民の健康で安心な暮らしと人財を育む教育により、豊かな心を持った村民が輝く村



魅力と賑わいの生れる村

豊かな風土が育んだ地域ならではの資源を活かした
農林水産業や新たな産業・雇用創出により、魅力と賑わいが生れる村



村づくりの5本の柱

地域資源を活かした村づくり

農林水産業の振興

原子力発電所事故による除染や風評被害払しょくなど、3・11災害の被災からの復興を契機に、村民の深刻な高齢化や担い手不足へ対応した各種産業における土地(農地等)の集約や新たな経営体の育成など、地域資源を活かした地場産業の再編に向けた村づくりを推進していきます。



新しい雇用を生む村づくり

雇用の創出(工業・企業誘致、新規産業)、商業、観光交流。 生活サービス業の振興

原子力発電所事故前の原子力関連産業への過大な依存から脱却し、新たな企業誘致や再生可能エネルギー産業の創出、地域での生活支援ビジネスの創出などによる、新たな雇用を生む村づくりを推進していきます。





村民総参加の村づくり

参加型社会の創出

村の限られた人材や財源を精査し活用していくために、住民自治や協働の精神を育み、行政と村民が各々の役割分担を基本に、年代別や適材適所に応じ自分たちのできることから始め、村民の総参加による村づくりを推進していきます。



計画的な行政を推進する村づくり

行財政の運営、広域連携の推進

少子高齢化や人口減少に伴う財源の縮小(税収減)に対応し、中長期的な視点のもとでの財政の見直しを行い、無理無駄のない財政運営、効率的な補助・投資、新たな税収確保策の推進、広域連携の推進などによる計画的な行政運営による村づくりを推進していきます。

4 村づくりの5本の柱

村民とともに歩む村

計画的な行財政運営と、主体的な村民参加やコミュニティ活動が両輪となって支えあう村民とともに歩む村





新たな創造に取り組む村

震災と原子力発電所事故からの復興への積極的な取組みを通じ、
双葉地方の復興フロンティアとして新たな創造に挑戦する村

村内に設置されている
太陽光発電設備

5
村づくりの5本の柱

復興のフロンティアとしての村づくり

「町外コミュニティ」整備への対応、再生可能エネルギーの導入促進、
除染及び放射能管理への対応の強化・充実、帰村促進への継続的な対応

災害からの復興事業を十二分に検討し、新たな事業をチャンスとして捉え、「町外コミュニティ」の可能性や再生可能エネルギー導入の検討、除染及び放射能管理への対応強化など、新たな施策により、双葉地方の復興促進のフロンティアとしての村づくりに挑戦していきます。



完全人工光型 植物工場



食品モニタリングの様子

資料編

土地・人口／財政／産業／教育・文化
福祉・保健衛生／生活環境／行政・議会

土地・人口

●土地利用状況

| 総面積 (ha) | 農地 | | | 林地 | | | | | その他 |
|-------------|-----|-----|-----|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 計 | 耕地 | | 計 | 国有林 | 民有林 | | | |
| | | 田 | 畑 | | | 公有林 | 私有林 | 計 | |
| 19,735 | 907 | 506 | 401 | 17,471 | 5,234 | 8,946 | 3,291 | 12,237 | 1,357 |

資料：農地…農林水産関係市町村別統計 林地…平成27年福島県森林・林業統計書

●国勢調査における人口及び世帯数の推移

| 区分 年次 | 世帯数 | 人口 | | |
|----------|-------|--------|--------|--------|
| | | 計 | 男 | 女 |
| 昭和10年 | 1,106 | 5,268人 | 2,682人 | 2,586人 |
| 15 | 1,040 | 5,278 | 2,565 | 2,713 |
| 20 | 1,001 | 5,276 | 2,455 | 2,821 |
| 25 | 1,016 | 6,048 | 2,973 | 3,075 |
| 30 | 1,113 | 6,144 | 2,991 | 3,153 |
| 35 | 1,133 | 5,966 | 2,934 | 3,032 |
| 40 | 1,133 | 5,371 | 2,696 | 2,675 |
| 45 | 1,054 | 4,709 | 2,358 | 2,351 |
| 50 | 1,018 | 4,308 | 2,142 | 2,166 |
| 55 | 1,020 | 4,132 | 2,068 | 2,064 |
| 60 | 1,014 | 4,020 | 1,985 | 2,035 |
| 平成2年 | 994 | 3,933 | 1,956 | 1,977 |
| 7 | 1,088 | 3,797 | 1,953 | 1,844 |
| 12 | 976 | 3,384 | 1,706 | 1,678 |
| 17 | 965 | 3,125 | 1,571 | 1,554 |
| 22 | 950 | 2,820 | 1,414 | 1,406 |
| 27 | 1,077 | 2,021 | 1,222 | 799 |

●住民基本台帳における人口・世帯数・人口動態の推移

| 区分 年次 | 世帯数 | 人口 | 自然動態 | | | 社会動態 | | |
|----------|-------|--------|------|-----|------|------|------|------|
| | | | 出生 | 死亡 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 |
| 平成13年 | 1,089 | 3,538人 | 28人 | 51人 | -23人 | 96人 | 142人 | -46人 |
| 14 | 1,074 | 3,458 | 23 | 39 | -16 | 106 | 111 | -5 |
| 15 | 1,092 | 3,455 | 15 | 37 | -22 | 99 | 125 | -26 |
| 16 | 1,081 | 3,364 | 21 | 46 | -25 | 80 | 132 | -52 |
| 17 | 1,087 | 3,313 | 15 | 39 | -24 | 107 | 124 | -17 |
| 18 | 1,123 | 3,275 | 19 | 31 | -12 | 108 | 132 | -24 |
| 19 | 1,125 | 3,239 | 9 | 52 | -43 | 99 | 103 | -4 |
| 20 | 1,128 | 3,192 | 18 | 43 | -25 | 73 | 138 | -65 |
| 21 | 1,144 | 3,100 | 16 | 36 | -20 | 54 | 132 | -78 |
| 23 | 1,108 | 2,859 | 8 | 60 | -52 | 62 | 116 | -54 |
| 25 | 1,139 | 2,794 | 12 | 60 | -48 | 76 | 96 | -20 |
| 26 | 1,161 | 2,758 | 19 | 47 | -28 | 72 | 72 | 0 |
| 27 | 1,196 | 2,746 | 7 | 44 | -37 | 148 | 74 | +74 |
| 28 | 1,256 | 2,739 | - | - | - | - | - | - |

資料：住民基本台帳（世帯数、人口は10月1日現在、動態は年度合計）

●地域別人口と世帯数の推移

| 年次 区分 | 平成17年 | | | | 平成22年 | | | | 平成27年 | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|
| | 世帯数 | 男 | 女 | 計 | 世帯数 | 男 | 女 | 計 | 世帯数 | 男 | 女 | 計 |
| 1区 | 140 | 294 | 234 | 528 | 151 | 265 | 218 | 483 | 124 | 204 | 151 | 355 |
| 2区 | 62 | 106 | 100 | 206 | 60 | 90 | 85 | 175 | 54 | 59 | 55 | 114 |
| 3区 | 202 | 294 | 327 | 621 | 208 | 277 | 300 | 577 | 137 | 147 | 157 | 304 |
| 4区 | 94 | 170 | 154 | 324 | 82 | 138 | 135 | 273 | 67 | 76 | 84 | 160 |
| 5区 | 193 | 269 | 281 | 550 | 192 | 257 | 255 | 512 | 532 | 549 | 158 | 707 |
| 6区 | 107 | 151 | 168 | 319 | 103 | 130 | 158 | 288 | 79 | 88 | 97 | 185 |
| 7区 | 96 | 147 | 168 | 315 | 88 | 133 | 142 | 275 | 61 | 76 | 76 | 152 |
| 8区 | 71 | 140 | 122 | 262 | 66 | 124 | 113 | 237 | 23 | 23 | 21 | 44 |
| 計 | 965 | 1,571 | 1,554 | 3,125 | 950 | 1,414 | 1,406 | 2,820 | 1,077 | 1,222 | 799 | 2,021 |

資料：国勢調査

●5歳階層別人口の推移

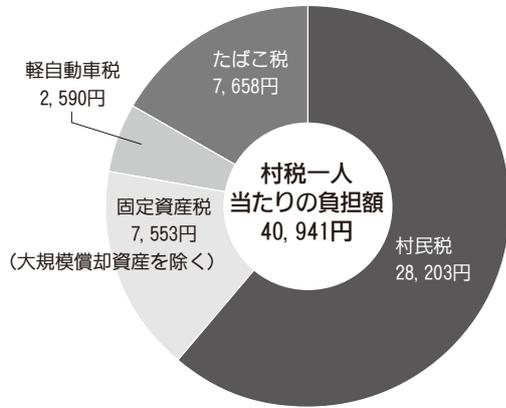
| 年次 年齢階層(歳) | 人口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| | 0~4 | 5~9 | 10~14 | 15~19 | 20~24 | 25~29 | 30~34 | 35~39 | 40~44 | 45~49 | 50~54 | 55~59 | 60~64 | 65~69 | 70~74 | 75~79 | 80~84 | 85~89 | 90~94 | 95~99 | 100以上 | 不詳 |
| 昭和60年 | 計 | 232 | 296 | 309 | 192 | 203 | 239 | 295 | 237 | 177 | 247 | 336 | 327 | 284 | 226 | 168 | 113 | 79 | 51 | 8 | 1 | 0 |
| | 男 | 116 | 139 | 161 | 95 | 132 | 145 | 158 | 131 | 90 | 118 | 155 | 159 | 135 | 92 | 61 | 43 | 38 | 15 | 2 | - | - |
| | 女 | 116 | 157 | 148 | 97 | 71 | 94 | 137 | 106 | 87 | 129 | 181 | 168 | 149 | 134 | 107 | 70 | 41 | 36 | 6 | 1 | - |
| 平成7年 | 計 | 149 | 234 | 252 | 196 | 181 | 164 | 190 | 250 | 321 | 238 | 178 | 242 | 323 | 297 | 249 | 156 | 102 | 45 | 24 | 6 | 1 |
| | 男 | 66 | 125 | 129 | 96 | 133 | 92 | 112 | 146 | 177 | 144 | 97 | 120 | 147 | 139 | 113 | 56 | 37 | 13 | 10 | 1 | - |
| | 女 | 83 | 109 | 123 | 100 | 48 | 72 | 78 | 104 | 144 | 94 | 81 | 122 | 176 | 158 | 136 | 100 | 65 | 32 | 14 | 5 | 1 |
| 平成12年 | 計 | 93 | 146 | 236 | 156 | 132 | 139 | 139 | 169 | 237 | 295 | 234 | 169 | 225 | 308 | 273 | 213 | 125 | 61 | 28 | 5 | 1 |
| | 男 | 55 | 67 | 124 | 84 | 85 | 85 | 69 | 92 | 136 | 154 | 139 | 80 | 104 | 138 | 126 | 87 | 45 | 22 | 12 | 1 | 1 |
| | 女 | 38 | 79 | 112 | 72 | 47 | 54 | 70 | 77 | 101 | 141 | 95 | 89 | 121 | 170 | 147 | 126 | 80 | 39 | 16 | 4 | - |
| 平成17年 | 計 | 97 | 99 | 135 | 164 | 110 | 140 | 117 | 134 | 161 | 225 | 290 | 231 | 166 | 217 | 283 | 252 | 167 | 96 | 32 | 9 | 0 |
| | 男 | 52 | 61 | 60 | 89 | 78 | 77 | 68 | 64 | 87 | 126 | 147 | 133 | 84 | 98 | 127 | 112 | 65 | 34 | 6 | 3 | - |
| | 女 | 45 | 38 | 75 | 75 | 32 | 63 | 49 | 70 | 74 | 99 | 143 | 98 | 82 | 119 | 156 | 140 | 102 | 62 | 26 | 6 | - |
| 平成22年 | 計 | 69 | 96 | 95 | 92 | 105 | 114 | 126 | 110 | 118 | 166 | 226 | 271 | 239 | 167 | 200 | 256 | 205 | 105 | 46 | 13 | 1 |
| | 男 | 36 | 50 | 55 | 42 | 68 | 72 | 66 | 60 | 54 | 89 | 130 | 132 | 137 | 85 | 91 | 107 | 91 | 33 | 12 | 4 | - |
| | 女 | 33 | 46 | 40 | 50 | 37 | 42 | 60 | 50 | 64 | 77 | 96 | 139 | 102 | 82 | 109 | 149 | 114 | 72 | 34 | 9 | 1 |
| 平成27年 | 計 | 20 | 29 | 25 | 23 | 63 | 95 | 80 | 81 | 86 | 118 | 145 | 213 | 259 | 186 | 126 | 151 | 157 | 98 | 37 | 8 | 2 |
| | 男 | 10 | 17 | 13 | 14 | 54 | 74 | 60 | 61 | 68 | 90 | 104 | 140 | 158 | 108 | 61 | 65 | 64 | 43 | 10 | 2 | - |
| | 女 | 10 | 12 | 12 | 9 | 9 | 21 | 20 | 20 | 18 | 28 | 41 | 73 | 101 | 78 | 65 | 86 | 93 | 55 | 27 | 6 | 2 |

資料：国勢調査

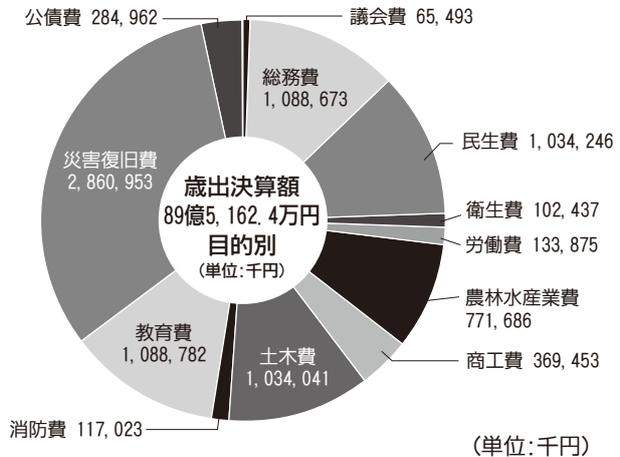
財 政

●平成27年度一般会計決算の状況

歳入決算額 97億3,118万円



歳出決算額 89億5,162万円



| 自主財源 | 依存財源 | 国庫支出金 |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 2,386,500 (24.5%) | 7,344,679 (75.5%) | 1,670,859 (17.2%) |
| 諸収入外 | 地方交付税 | 県支出金 |
| 1,931,153 (19.9%) | 2,071,177 (21.3%) | 3,309,405 (34.0%) |
| 財産収入 | | 村債 |
| 32,198 (0.3%) | | 198,386 (2.0%) |
| 村税 | | 地方譲与税外 |
| 423,149 (4.3%) | | 94,852 (1.0%) |

●財政規模等の推移

| 区分 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 歳入総額 (千円) | 2,670,954 | 2,834,274 | 2,974,369 | 2,999,834 | 5,960,483 | 10,920,933 | 7,233,802 | 7,566,630 | 9,731,180 |
| 同指数 (19年度=100) | 100 | 106 | 111 | 112 | 223 | 409 | 271 | 283 | 364 |
| 歳出総額 (千円) | 2,558,364 | 2,644,620 | 2,870,511 | 2,844,273 | 5,609,253 | 10,540,675 | 6,859,295 | 6,432,298 | 8,951,624 |
| 同指数 (19年度=100) | 100 | 103 | 112 | 111 | 219 | 412 | 268 | 251 | 350 |
| 実質収支比率 | 4.2 | 7.2 | 5.5 | 4.2 | 14.2 | 15.2 | 11.8 | 11.7 | 3.2 |
| 財政力指数 | 0.29 | 0.27 | 0.26 | 0.27 | 0.28 | 0.27 | 0.25 | 0.29 | 0.29 |
| 経常経費比率 | 91.1 | 91.2 | 87.9 | 82.0 | 96.6 | 84.0 | 81.8 | 91.6 | 90.6 |
| 公債費比率 | 10.2 | 8.8 | 7.9 | 6.4 | 5.4 | 5.4 | 5.8 | 5.1 | 4.2 |

資料：総務課

●自主財源と依存財源の推移

| 区分 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 自主財源① (千円) | 671,281 | 665,046 | 719,786 | 692,983 | 735,840 | 1,520,497 | 1,298,946 | 1,471,648 | 2,386,500 |
| 歳入割合①/③ (%) | 25.1 | 23.5 | 24.2 | 23.1 | 12.3 | 13.9 | 18.0 | 19.4 | 24.5 |
| 依存財源② (千円) | 1,999,673 | 2,169,228 | 2,254,583 | 2,306,851 | 5,224,643 | 9,400,436 | 5,934,856 | 6,094,982 | 7,344,679 |
| 歳入割合②/③ (%) | 74.9 | 76.5 | 75.8 | 76.9 | 87.7 | 86.1 | 82.0 | 80.6 | 75.5 |
| 歳入総額③ (千円) | 2,670,954 | 2,834,274 | 2,974,369 | 2,999,834 | 5,960,483 | 10,920,933 | 7,233,802 | 7,566,630 | 9,731,179 |
| 割合 (%) | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

資料：総務課

●年度別区分指数

(単位：千円)

| 区分 | 年度別 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-----------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 基準財政需要額 | | 1,480,126 | 1,549,250 | 1,561,233 | 1,647,172 | 1,590,062 | 1,627,246 | 1,640,127 | 1,607,727 | 1,652,098 |
| 基準財政収入額 | | 429,235 | 411,871 | 399,009 | 442,554 | 453,253 | 414,233 | 409,867 | 464,411 | 486,174 |
| 財政規模 | | 1600965 | 1757542 | 1813461 | 1941580 | 1812940 | 1857219 | 1,864,318 | 1,839,586 | 1,892,739 |
| 財政力指数 | | 0.307 | 0.291 | 0.271 | 0.264 | 0.269 | 0.268 | 0.26 | 0.265 | 0.278 |
| 実質収支比率 | | 4.2 | 7.19 | 5.49 | 4.23 | 14.15 | 15.22 | 11.78 | 11.69 | 3.2 |
| 公債費比率 | | 10.2 | 8.8 | 7.9 | 6.4 | 5.4 | 5.4 | 5.8 | 5.1 | 4.2 |
| 財政調整基金現在高 | | 827,208 | 915,577 | 1,063,306 | 1,068,560 | 1,115,056 | 1,099,112 | 1,241,816 | 1,292,520 | 1,052,520 |
| 地方債現在高 | | 3,940,257 | 3,850,541 | 3,775,014 | 3,733,287 | 3,425,765 | 3,110,987 | 3,091,931 | 2,973,300 | 2,878,470 |

資料：総務課

産 業

●産業別男女別就業数の推移

| 区分 | 年次 | 平成12年 | | | 平成17年 | | | 平成22年 | | | 平成27年 | | | |
|-------|------------|-------|-------|------|-------|------|------|-------|------|------|-------|------|-----|-----|
| | | 男女別 | 人数 | 男 | 女 | 人数 | 男 | 女 | 人数 | 男 | 女 | 人数 | 男 | 女 |
| 第一次産業 | 農林業 | | 339人 | 178人 | 161人 | 320人 | 182人 | 138人 | 250人 | 150人 | 100人 | 132人 | 79人 | 53人 |
| | 水産業 | | 1 | 1 | - | 0 | - | - | 0 | - | - | - | - | - |
| | 小計 | | 340 | 179 | 161 | 320 | 182 | 138 | 250 | 150 | 100 | 132 | 79 | 53 |
| 第二次産業 | 鉱業 | | 1 | 1 | - | 1 | 1 | 0 | 3 | 3 | - | 4 | 4 | 0 |
| | 建設業 | | 379 | 334 | 45 | 278 | 246 | 32 | 267 | 238 | 29 | 236 | 213 | 23 |
| | 製造業 | | 331 | 124 | 207 | 183 | 77 | 106 | 117 | 60 | 57 | 61 | 38 | 23 |
| 小計 | | 711 | 459 | 252 | 462 | 324 | 138 | 448 | 361 | 87 | 301 | 255 | 46 | |
| 第三次産業 | 卸売・小売業 | | 150 | 65 | 85 | 122 | 53 | 69 | 119 | 49 | 70 | 52 | 26 | 26 |
| | 金融・保険・不動産業 | | 7 | 4 | 3 | 10 | 5 | 5 | 11 | 8 | 3 | 6 | 4 | 2 |
| | 運輸・通信業 | | 49 | 44 | 5 | 49 | 40 | 9 | 31 | 27 | 4 | 15 | 12 | 3 |
| | 電気・ガス・水道業 | | 2 | 2 | - | 7 | 6 | 1 | 7 | 7 | 0 | 2 | 2 | 0 |
| | サービス業 | | 306 | 153 | 153 | 361 | 168 | 193 | 340 | 134 | 206 | 516 | 382 | 134 |
| | 公務 | | 117 | 105 | 12 | 126 | 111 | 15 | 121 | 106 | 15 | 122 | 108 | 14 |
| | 分類不能産業 | | 0 | - | - | 2 | 1 | 1 | 13 | 8 | 5 | - | - | - |
| 小計 | | 631 | 373 | 258 | 677 | 384 | 293 | 642 | 339 | 303 | 713 | 534 | 179 | |
| 総数 | | 1,682 | 1,011 | 671 | 1,459 | 890 | 569 | 1,340 | 850 | 490 | 1,146 | 868 | 278 | |

資料：国勢調査

●専・兼業別農家数と従業員数の推移

| 年次 | 総数 | 専業 | 第一種兼業 | 第二種兼業 | 就業者数 |
|-------|------|-----|-------|-------|--------|
| 昭和60年 | 563戸 | 41戸 | 186戸 | 336戸 | 1,633人 |
| 平成2年 | 536 | 41 | 133 | 362 | 1,522 |
| 平成7年 | 472 | 37 | 71 | 364 | 1,367 |
| 平成12年 | 426 | 45 | 48 | 333 | 1,488 |
| 平成17年 | 375 | 61 | 54 | 260 | 1,073 |
| 平成22年 | 345 | 78 | 39 | 228 | 966 |
| 平成26年 | 121 | 7 | 13 | 101 | 377 |
| 平成27年 | 126 | 36 | 9 | 32 | 112 |

注) 第1種兼業 農業が主、兼業が従 資料：農林業センサス
 注) 第2種兼業 農業が従、兼業が主

●経営耕地面積の推移

| 年次 | 総経営耕地面積 | 田 | 畑 | 樹園地 | 牧草専用 |
|-------|---------|---------|---------|--------|---------|
| 昭和60年 | 80,881a | 44,793a | 15,514a | 4,676a | 16,786a |
| 平成2年 | 72,954 | 46,522 | 12,246 | 3,032 | 11,154 |
| 平成7年 | 69,700 | 45,700 | 9,500 | 900 | 13,600 |
| 平成12年 | 67,091 | 45,587 | 6,167 | 347 | 14,990 |
| 平成17年 | 58,700 | 41,900 | 9,970 | - | 6,200 |
| 平成22年 | 60,500 | 42,200 | 8,100 | 300 | 9,900 |
| 平成26年 | 28,123 | 15,900 | 8,560 | - | 3,663 |
| 平成27年 | 24,450 | 15,646 | 8,583 | 221 | |

資料：農業基本調査・農林業センサス

●経営耕地規模別農家の推移

| 年次 | 農家総数 | 0.3ha未満 | 0.3～ | 0.5～ | 1.0～ | 1.5～ | 2.0～ | 3.0～ | 5.0ha以上 |
|-------|------|---------|------|------|------|------|------|------|---------|
| 昭和60年 | 563戸 | 42戸 | 73戸 | 156戸 | 124戸 | 81戸 | 63戸 | 16戸 | 4戸 |
| 平成2年 | 536 | 38 | 77 | 150 | 132 | 79 | 50 | 8 | 2 |
| 平成7年 | 472 | 45 | 53 | 133 | 97 | 72 | 39 | 16 | 17 |
| 平成12年 | 426 | 28 | 37 | 132 | 108 | 58 | 24 | 22 | 17 |
| 平成17年 | 380 | 5 | 60 | 114 | 99 | 50 | 26 | 12 | 14 |
| 平成22年 | 357 | 8 | 38 | 112 | 82 | 48 | 38 | 17 | 14 |
| 平成26年 | 121 | 24 | 8 | 9 | 23 | 27 | 17 | 8 | 5 |
| 平成28年 | 94 | 12 | 12 | 28 | 17 | 8 | 6 | 4 | 7 |

資料：平成28年度産業振興課

●家畜家きん頭羽数状況

| 乳用牛 | | 肉用牛 | | 豚 | | にわとり | | ブロイラー | |
|-----|----|-----|----|----|-------|------|-----|-------|----|
| 戸数 | 頭数 | 戸数 | 頭数 | 戸数 | 頭数 | 戸数 | 頭数 | 戸数 | 頭数 |
| 1 | 65 | 8 | 41 | 1 | 4,300 | 2 | 241 | - | - |

資料：平成28年度産業振興課

●主要作物別年間生産高

| | | |
|----|---------|-------|
| 水稻 | 13,289俵 | 193ha |
| そば | 3,900kg | 74ha |

資料：平成28年度産業振興課

●形態別森林面積

(ha)

| 総数 | 国有林 | 公有林 | | | | | | | | 私有林 |
|--------|-------|-------|-----|-------|------|-------|-------|-----|-----|-------|
| | | 直営林 | 部分林 | 家経林 | 官行造林 | 県行造林 | 水源復層林 | 試験林 | 漫用林 | |
| 17,471 | 5,234 | 4,304 | 395 | 1,170 | 383 | 1,022 | 1,528 | 123 | 21 | 3,291 |

資料：平成27年福島県森林・林業統計書

●工業の状況

| 年次 | 区分 | 事業所数 | 従業員数(人) | 製造品出荷額等 (万円) | 付加価値額 (万円) |
|-------|----|------|---------|-----------------|---------------|
| | | | 総数(人) | | |
| 平成24年 | | 3 | 38 | - | - |
| 平成25年 | | 4 | 57 | 30,509 | 20,176 |
| 平成26年 | | 4 | 54 | 33,424 | 21,369 |

資料：工業統計調査

●商業の推移

| 年次 | 産業(中)分類 | 事業所数 | 売場面積 (小売店業のみ) (㎡) | 従業員数 (人) | 年間販売額 (万円) |
|-------|---------|------|-------------------------|-------------|---------------|
| 平成6年 | | 67 | 2,036 | 137 | 138,760 |
| 平成9年 | | 57 | 1,504 | 120 | 143,509 |
| 平成14年 | | 54 | 1,638 | 149 | 110,372 |
| 平成16年 | | 50 | - | 123 | 124,500 |
| 平成19年 | | 41 | 1,363 | 97 | 80,700 |
| 平成26年 | | 11 | 454 | 29 | 85,900 |

資料：商業統計調査

教育・文化

●小学校状況

| 区分 学校別 | 学級数 | | 教員数 | | | 児童数 | | | | | | 敷地面積 ㎡ | 校舎面積 (屋体も含む) ㎡ | 運動場 ㎡ | | | |
|-----------|-----|-------|-----|---|---|-----|----|----|----|----|----|-----------|----------------------|----------|--------|-------|--------|
| | 総数 | (内)特殊 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 1年 | 2年 | 3年 | | | | 4年 | 5年 | 6年 |
| 川内小 | 3 | 3 | 10 | 5 | 5 | 35 | 18 | 17 | 4 | 4 | 6 | 7 | 9 | 5 | 37,900 | 5,926 | 20,131 |

資料：平成28年5月1日現在学校基本調査

●中学校状況

| 区分 学校別 | 学級数 | | 教員数 | | | 生徒数 | | | | | | 敷地面積 ㎡ | 校舎面積 (屋体も含む) ㎡ | 運動場 ㎡ |
|-----------|-----|-------|-----|---|---|-----|---|---|----|----|----|-----------|----------------------|----------|
| | 総数 | (内)特殊 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 1年 | 2年 | 3年 | | | |
| 川内中 | 2 | 1 | 9 | 7 | 2 | 14 | 7 | 7 | 8 | 1 | 4 | 28,699 | 4,226 | 14,063 |

資料：平成28年5月1日現在学校基本調査

●小学校児童数の推移

| 年度 | 区分 学校数 | 学級数 | | 教員数 | | | 児童数 | | | | | | | | |
|-------|-----------|-----|-------|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 総数 | (内)特殊 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
| 昭和50年 | 3 | 23 | 4 | 34人 | 18人 | 16人 | 442人 | 233人 | 209人 | 61人 | 60人 | 70人 | 76人 | 80人 | 95人 |
| 60年 | 3 | 20 | 1 | 30 | 16 | 14 | 371 | 190 | 181 | 70 | 55 | 62 | 60 | 64 | 60 |
| 平成2年 | 3 | 19 | 1 | 30 | 17 | 13 | 326 | 154 | 172 | 53 | 50 | 46 | 51 | 54 | 72 |
| 5年 | 3 | 18 | 1 | 29 | 16 | 13 | 307 | 159 | 148 | 53 | 54 | 49 | 53 | 50 | 48 |
| 8年 | 3 | 18 | 1 | 29 | 14 | 15 | 294 | 155 | 139 | 50 | 45 | 46 | 52 | 52 | 49 |
| 11年 | 3 | 17 | 1 | 37 | 14 | 23 | 235 | 115 | 120 | 35 | 26 | 38 | 45 | 45 | 46 |
| 16年 | 1 | 7 | 1 | 12 | 4 | 9 | 139 | 70 | 69 | 20 | 21 | 14 | 19 | 32 | 31 |
| 28年 | 1 | 3 | 3 | 10 | 5 | 5 | 35 | 18 | 17 | 4 | 4 | 6 | 7 | 9 | 5 |

資料：学校基本調査

●中学校生徒数の推移

| 年度 | 区分 学校数 | 学級数 | | 教員数 | | | 生徒数 | | | | | |
|-------|-----------|-----|-------|-----|-----|----|------|------|------|-----|------|------|
| | | 総数 | (内)特殊 | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 1年 | 2年 | 3年 |
| 昭和50年 | 1 | 11 | 3 | 22人 | 14人 | 8人 | 293人 | 161人 | 132人 | 81人 | 108人 | 104人 |
| 60年 | 1 | 7 | 1 | 17 | 12 | 5 | 166 | 82 | 84 | 53 | 53 | 60 |
| 平成2年 | 1 | 7 | 1 | 15 | 8 | 7 | 175 | 85 | 90 | 53 | 63 | 59 |
| 5年 | 1 | 7 | 1 | 15 | 9 | 6 | 179 | 80 | 99 | 51 | 54 | 74 |
| 8年 | 1 | 7 | 1 | 15 | 9 | 6 | 150 | 74 | 76 | 53 | 50 | 47 |
| 11年 | 1 | 7 | 1 | 20 | 8 | 12 | 150 | 80 | 70 | 53 | 52 | 45 |
| 16年 | 1 | 4 | 0 | 11 | 6 | 5 | 106 | 55 | 51 | 27 | 36 | 43 |
| 28年 | 1 | 2 | 1 | 9 | 7 | 2 | 14 | 7 | 7 | 8 | 1 | 4 |

資料：学校基本調査

●国・県・及び村指定文化財

| | 種 別 | 名 称 | 数 | 指定年月日 | 所 在 地 | 所有者又は管理者 |
|--------|----------------|----------------------------|--------------|--------------------------|-------------------------|----------------------------------|
| 国 県 | 天然記念物 重要文化財 | 平伏沼モリアオガエル繁殖地 木造虚空蔵菩薩坐像 | 1 軀 | 昭和16年2月28日 昭和28年10月1日 | 上川内字平伏森 国有林 上川内字西迎 | 農林水産省 長福寺 |
| 県 | 重要無形 民俗文化財 | 川内の獅子舞 (高田島・西山・町・西郷) | 4 | 昭和53年4月7日 | 高田島 西山 町 西郷 | 第1行政区 第6行政区 第5行政区 西郷青年団 |
| 村 村 | 名勝地 天然記念物 | 古熊山不動滝 林の大杉 | 73.2㎡ 1 本 | 昭和38年8月12日 昭和44年8月30日 | 上川内字木ノ葉橋164 上川内字林114 | 第4行政区 秋元 美誉 |
| 村 | 史跡 | 平安藤源一滴善童女墓碑 | 1 基 | 〃 | 上川内字早渡143 旧墓地 | 井出 好二 |
| 村 | 重要文化財 | 石燈籠 | 1 基 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 村 | 重要文化財 | 刀 | 1 振 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 村 | 重要文化財 | 泰享院長福寺の梵鐘 | 壺口 | 昭和63年11月1日 | 上川内字三合田29 | 長福寺 |
| 村 | 重要文化財 | 地蔵院多宝寺の梵鐘 | 壺口 | 昭和63年11月1日 | 下川内字原133 | 地蔵院 |
| 村 | 重要文化財 | 佐久間義隣の「見聞雑誌」 | 全24巻 | 平成2年11月30日 | 下川内字原12 | 佐久間長助 |
| 村 | 重要文化財 | 地蔵院多宝寺の山門 | 1棟 | 平成2年11月30日 | 下川内字原133 | 地蔵院 |
| 村 | 重要文化財 | 高田島神楽舞 | | 平成18年4月26日 | | 第1行政区 |
| 村 | 重要文化財 | 東郷神楽舞 | | 平成18年4月26日 | | 東郷青年団 |
| 村 | 重要文化財 | 鰐口 | | 平成18年4月26日 | 上川内字町分 | 麓山神社 |
| 村 | 重要文化財 | 絵馬「繫駒」 | | 平成18年4月26日 | 下川内字坂シ内 | 下川内諏訪神社 |
| 村 | 重要文化財 | 絵馬「御用船」 | | 平成18年4月26日 | 下川内字坂シ内 | 下川内諏訪神社 |

資料：公民館

福祉・保健衛生

●国民年金加入状況

| 区分 年次 | 総数 | 第1号被保険者 | | | 第3号 被保険者 |
|----------|------|---------|------|------|-------------|
| | | 強制加入 | 任意加入 | 計 | |
| 平成26年 | 538人 | 417人 | 4人 | 421人 | 117人 |
| 平成27年 | 505 | 394 | 5 | 399 | 106 |

資料：住民課

●保育園状況

| 保育園名 | 園児数 | 職員数 |
|---------|-----|-----|
| かわうち保育園 | 25人 | 3人 |

資料：平成28年3月現在 保育園

●国民健康保険給付状況（一般分）

| 区 分 | 件 数 | 費用額 | 保険者負担額 | 1人当り費用額 |
|------------|---------|--------------|--------------|----------|
| 診 療 費 | 15,920件 | 407,668,890円 | 393,590,336円 | 443,118円 |
| 療 養 費 | 331件 | 2,735,548円 | 1,937,424円 | 2,973円 |
| その他 の給付 | 区 分 | 件数 | 支給額 | 摘 用 |
| | 助産費 | 5件 | 1,746,190円 | — |
| | 葬祭費 | 5件 | 250,000円 | — |
| | 高額療養費 | 7件 | 822,383円 | — |

資料：平成27年度 住民課

●身障者（児）手帳等交付数

| 種 別 | 交付数（件） |
|-----------|--------|
| 身 体 障 害 | 156 |
| 療 育 | 38 |
| 精神障害者保健福祉 | 16 |
| 計 | 210 |

資料：平成28年12月1日 保健福祉課

●健康診断の実施状況

| 区 分 | 乳児健診 | 三歳児健診 | 胃 検 診 | 基本検診 | 結核検診 | 子宮がん検診 | 大腸がん検診 | 乳がん検診 |
|-------|------|-------|--------|------|------|--------|--------|-------|
| 対 象 者 | 23人 | 11人 | 1,328人 | — | 980人 | 850人 | 1,328人 | 786人 |
| 実 施 者 | 23人 | 9人 | 200人 | 562人 | 356人 | 184人 | 337人 | 159人 |

資料：平成27年度 保健福祉課

●国保診療所診療状況

| 科 別 | 外 来 | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| | 国保 | 後期高齢 | 社保 | 計 |
| 内科 | 1,636人 | 3,220人 | 1,300人 | 6,156人 |
| 歯科 | 1,254人 | 883人 | 1,641人 | 3,778人 |

資料：平成27年度川内村診療所

●主要死因年次推移

| 年 | 死亡総 数(人) | 脳血管 疾患 率 | 悪 性 新生物 率 | 心疾患 率 | 3大成人病 死亡割合 |
|----|-------------|----------------|-----------------|----------|---------------|
| 26 | 45 | 6 13.3 | 12 26.7 | 3 6.7 | 46.7 |
| 27 | 47 | 2 4.3 | 10 21.3 | 4 8.5 | 34.1 |

資料：人口動態統計

生活環境

●道路整備状況

| 区分 | 路線種別 | 路線名 | 実延長(m) | 改良延長(m) | 改良率(%) | 舗装延長(m) | 舗装率(%) |
|-----|-------|------------|---------|---------|--------|---------|--------|
| 国道 | 一般国道 | 399号 | 17,261 | 9,820 | 56.90 | 17,261 | 100.00 |
| 県道 | 主要地方道 | 小野・富岡線 | 16,429 | 11,856 | 72.20 | 16,429 | 100.00 |
| " | 一般県道 | 富岡・大越線 | 11,834 | 6,980 | 58.98 | 11,834 | 100.00 |
| " | " | 下川内・竜田停車場線 | 8,699 | 0 | 0.00 | 2,707 | 31.12 |
| 県道計 | | | 54,223 | 28,656 | 52.80 | 48,231 | 88.90 |
| 村道 | 1級 | | 14,217 | 12,583 | 88.51 | 13,520 | 95.10 |
| " | 2級 | | 27,451 | 20,998 | 76.49 | 27,141 | 98.87 |
| " | その他 | | 73,735 | 39,113 | 53.05 | 52,541 | 71.26 |
| 村道計 | | | 115,403 | 72,694 | 62.99 | 93,202 | 80.76 |

資料：平成27年4月1日現在 建設課

●公営住宅の状況

| 団地名 | 戸数 |
|---------|----|
| 沢 | 4 |
| 宮坂 | 24 |
| 沢 | 8 |
| 坂シ内 | 8 |
| 宮ノ下(災公) | 25 |

資料：平成28年3月現在 建設課

●川内出張所

| ポンプ車 | タンク車 | 救急車 | 職員 |
|------|------|-----|-----|
| 1台 | - | 1台 | 19人 |

平成29年3月1日現在

●自治消防〈消防団員〉

| 分団数 | 総団員数 | 団長 | 副団長 | 分団長 | 副分団長 | 班長 | 団員 |
|-----|------|----|-----|-----|------|----|----|
| 10 | 106 | 1 | 1 | 15 | 10 | 44 | 35 |

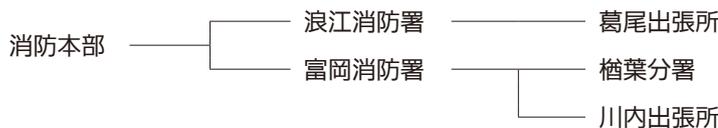
資料：平成28年4月1日現在 消防防災現況調査

●消防施設

| 消防車 | 積載車 | 可搬式ポンプ | 消火栓 | 貯水槽 |
|-----|-----|--------|-----|-----|
| 5台 | 7台 | 7台 | - | 76 |

平成29年3月1日現在

●双葉広域消防組織図



●歴代村長

| 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 | 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|--------|---------|---------|--------|----------|---------|
| 秋元 房輔 | 明 22. 8 | 明 23. 7 | 渡辺 博之 | 昭 10. 8 | 昭 14. 8 |
| 佐久間 祐吉 | 明 23. 8 | 明 23. 5 | 秋元 鉄之助 | 昭 15. 7 | 昭 17. 9 |
| 秋元 宇吉 | 明 28. 8 | 明 31. 6 | 河原 武 | 昭 17. 10 | 昭 21. 7 |
| 渡辺 柳藏 | 明 31. 6 | 明 35. 5 | 秋元 鼎藏 | 昭 21. 8 | 昭 22. 3 |
| 秋元 丑藏 | 明 35. 5 | 明 43. 7 | 若松 美雄 | 昭 22. 4 | 昭 26. 4 |
| 佐久間 直次 | 明 43. 8 | 明 45. 7 | 三瓶 丑次 | 昭 26. 5 | 昭 30. 5 |
| 井出 雅輔 | 大元 11 | 大 4. 11 | 新妻 安助 | 昭 30. 5 | 昭 34. 5 |
| 大浦 清次 | 大 4. 11 | 大 9. 9 | 河原 武 | 昭 34. 5 | 昭 47. 3 |
| 佐久間 直衛 | 大 9. 9 | 大 12. 2 | 秋元 馨 | 昭 47. 4 | 昭 51. 4 |
| 山中 安嘉 | 大 12. 4 | 大 13. 4 | 志賀 清記 | 昭 51. 4 | 昭 55. 4 |
| 三瓶 於禿吉 | 大 13. 4 | 昭 3. 4 | 遠藤 一雄 | 昭 55. 4 | 昭 63. 4 |
| 秋元 丑藏 | 昭 3. 9 | 昭 7. 9 | 渡邊 尊之 | 昭 63. 4 | 平 16. 4 |
| 三瓶 於禿吉 | 昭 7. 9 | 昭 10. 7 | 遠藤 雄幸 | 平 16. 4 | 現在 |



◆村の鳥
ウグイス

広葉樹林に好んで棲み、冬になると平野の茂みに生活します。大きさは翼長7cmぐらいの小鳥で前中は褐色をおびた緑色で、腹部は汚白色です。雄と雌は同色ですが、雌はいちじるしく小型です。(昭和53年4月制定)



◆村の木
モミ

マツ科の常緑針葉高木で、樹幹は直立しています。材は淡黄白色で、建築・器具・機械・楽器・船舶・パルプなどに利用されています。(昭和53年4月制定)



◆村の花
サラサドウダン

ツツジ科の落葉低木または小高木。フウリンツツジともいいます。高さは5~6m、枝はやや太く輪生し斜上したり横に広がったりします。名は花冠の縞を更紗模様に見たててつけられたもので、木村の高塚山(県立自然公園)に群生しています。開花は6月。(昭和53年4月制定)

●主な官公署関係一覧

| 名 称 | 所 在 地 | 郵便番号 | 電 話 番 号 | | |
|---------------|---------------|----------|---------|------|------|
| 川内村役場 | 上川内字早渡 11-24 | 979-1292 | 0240 | (38) | 2111 |
| 複合施設 ゆふね | 下川内字坂シ内 133-5 | 979-1202 | 〃 | 〃 | 2941 |
| 川内村教育委員会 | 上川内字小山平 15 | 979-1201 | 〃 | 〃 | 3805 |
| 川内村コミュニティセンター | 上川内字小山平 15 | 〃 | 〃 | 〃 | 3806 |
| 村民体育センター | 上川内字小山平 15 | 〃 | 〃 | 〃 | 3806 |
| 天山文庫 | 上川内字早渡 向山公園 | 〃 | 〃 | 〃 | 2836 |
| 阿武隈民芸館 | 上川内字早渡 513 | 〃 | 〃 | 〃 | 2076 |
| かわうち保育園 | 下川内字宮坂 515 | 979-1202 | 〃 | 〃 | 2231 |
| 川内小学校 | 上川内字沼畑 125 | 979-1201 | 〃 | 〃 | 2004 |
| 川内中学校 | 下川内字宮渡 118 | 979-1202 | 〃 | 〃 | 2032 |
| 川内村社会福祉協議会 | 下川内字坂シ内 133-5 | 〃 | 〃 | 〃 | 3802 |
| 川内村国保診療所 | 下川内字坂シ内 133-5 | 〃 | 〃 | 〃 | 2009 |
| 川内村歯科診療所 | 下川内字坂シ内 133-5 | 〃 | 〃 | 〃 | 2054 |
| 富岡消防署川内出張所 | 上川内字早渡 11-4 | 979-1201 | 〃 | 〃 | 2119 |
| 川内駐在所 | 上川内字町分 174-1 | 979-1201 | 〃 | 〃 | 2022 |
| 川内郵便局 | 下川内字宮ノ下 515-2 | 979-1299 | 〃 | 〃 | 2222 |
| 上川内郵便局 | 上川内字町分 50-2 | 979-1201 | 〃 | 〃 | 2221 |
| JA福島さくら川内支店 | 上川内字町分 106 | 〃 | 〃 | 〃 | 2121 |
| 双葉地方森林組合川内事業所 | 上川内字瀬耳上 127-2 | 〃 | 〃 | 〃 | 2038 |
| 川内村商工会 | 上川内字早渡 11-24 | 〃 | 〃 | 〃 | 2265 |
| 航空自衛隊第27警戒群 | 上川内字花ノ内 6 | 979-4101 | 0247 | (79) | 2277 |

村民憲章

わたくしたちは、

雄大な阿武隈の自然に抱かれた、
限りなく躍進する川内村民です。

わたくしたちは、この村を愛し、

先人の偉業を受けつぎ、

村民としての自覚と誇りをもち、

力を合わせて明るい村をつくるため、

この憲章を定めます。



川内村の「カ」「ワ」の字を図案化したもので、
村民の融和と団結を表し、村勢の着実な前進を象徴しています。
(昭和53年4月制定)

- 一、きままりを守り、明るい川内をつくりましょう。
- 一、心を合わせ、楽しい川内をつくりましょう。
- 一、自然を愛し、住みよい川内をつくりましょう。
- 一、健康で、仕事に励む川内をつくりましょう。
- 一、文化を高め、心豊かな川内をつくりましょう。

(昭和57年1月14日制定)

福島県川内村 村勢要覧

平成29年3月発行

発行・編集／川内村

〒979-1292 福島県双葉郡川内村大字上川内字早渡11-24

TEL.0240-38-2111 FAX.0240-38-2116